

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	検査部残余胸水を用いた胸水中の環境 DNA の分析手法の検討		
② 実施予定期間	実施許可日～2025年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に山口大学医学部附属病院で胸水の検査を実施した患者さんのうち、臨床検査を終了した胸水（残余胸水）が1 mL以上存在した方が対象です。		
④ 対象期間	実施許可日の1カ月前～2024年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	別途参照		
⑥ 対象診療科	全ての診療科		
⑦ 研究責任者	氏名	高瀬 泉	所属 山口大学大学院医学系研究科 法医学講座
⑧ 使用する試料	臨床検査を終了した胸水（残余胸水）を使用します。		
⑨ 研究の概要	<p>この研究では、胸水から水中の魚に由来する「環境DNA」を分析する手法の確立を目標としています。この研究では、山口大学医学部附属病院検査部が医学系研究科法医学講座に提供する残余胸水を実験に用います。残余胸水とは、日常診療のために診療科が検査部に提出した胸水で、臨床検査を終了し、また、決められた保存期間を過ぎ、廃棄される胸水のことです。そのため、この研究のために患者さんから新たに胸水を採取することはありません。また、患者さんの個人情報を集めたり利用したりすることはありません。</p> <p>この研究は、山口大学の医学系研究科法医学講座、創成科学研究科流域環境学研究室、ならびに医学部附属病院検査部による共同研究です。検査部から提供された残余胸水は、実験まで法医学講座に保存します。実験は流域環境学研究室で行います。</p> <p>実験では、まず残余胸水に検出の対象である「環境DNA」を人工的に加えます。この加えた「環境DNA」を検出する方法や、検出できる下限量を検討する実験を行います。これらの実験を通じて、溺れた方の胸水から「環境DNA」を分析する新たな溺死診断法の開発を行い、法医鑑定における溺死診断の向上を目指します。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2023年12月15日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。		

	詳細な方法に関しては⑰の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	この研究は、山口大学大学院医学系研究科法医学講座の研究基盤経費および山口県医師会医学研究助成金を用いて実施します。		
⑯ 利益相反	本研究に関して開示すべき利益相反はありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学大学院医学系研究科 法医学講座		
	担当者：中川 碧	E-mail: legal@yamaguchi-u.ac.jp	
	電話	0836-22-2234	FAX 0836-22-2232

別添

研究組織

研究代表者：

高瀬 泉 山口大学大学院医学系研究科 法医学講座 教授

研究参加施設と研究責任者

山口大学大学院医学系研究科 高瀬 泉

山口大学大学院創成科学研究科 赤松 良久

山口大学医学部附属病院 西岡 光昭